

### 申 19 号「駅の変革」のスピードアップ ～Plus Value の実現に向けて～ に関する説明申し入れ提出！

会社は、4月「駅の変革」のスピードアップ～Plus Value の実現に向けて～を打ち出し、今後の駅業務等に関する方向性について明らかにしました。新型コロナウイルス感染症の収束の見えない中での厳しい経営環境等を踏まえた判断や変革のスピードアップ等に取り組むこと自体を決して否定するものではありませんが、現場では十分な説明等がないまま会社の考えそのものが独り歩きしていると言っても過言ではありません。また、今回示された内容等についても抽象的な表現や詳細について不明確な点が多くあることから組合員は困惑しています。さらに、5月7日には突如、「みどりの窓口」に関して2024年度末までに70%～80%削減する方向で調整に入ったという衝撃的な報道がされましたが、現場では一切何も知らされていない中において将来に対する不安を助長させるだけではなく、むしろ不満や不信すら増長しています。とりわけ、JRひがし労本部は、組合員から理解を得られるような対応等に努めることはもとより、改めて示した会社の考え方や今後の方向性について明確にした上で労使間において認識を共有することが重要であると考え、5月10日に申19号として本社へ申し入れを提出しました。

#### 【共通】

1. 「みどりの窓口」の削減に関する報道に対して本社の見解を明らかにすること。
2. 2018年以降の「駅の変革」に対する成果と課題について明らかにすること。
3. Plus Value のイメージである『駅社員の参画による当社グループならではのコスト競争力発揮』に関する具体的な考え方について明らかにすること。
4. 本体運営駅と業務委託駅の業務内容の棲み分けに対する考え方について明らかにすること。

#### 【駅業務の変革】

1. 業務領域と業務内容の拡大に関する詳細について明らかにすること。
2. 勤務場所を所属駅から所属エリアとする根拠について明らかにすること。
3. 話せる指定席券売機の導入を今年度20駅程度とした基準について明らかにすること。
4. 出札体制のイメージである首都圏と地方におけるみどりの窓口や臨時窓口及び話せる指定席券売機やMVの配置基準について明らかにすること。
5. 改札業務の柔軟な運用について具体的に明らかにすること。
6. ホーム業務の働き方改革を通じて安全を確保できるとする根拠について明らかにすること。
7. 車いす案内の削減に対する考え方について明らかにすること。
8. 支社、地区等における操車業務の集中化に対する考え方について明らかにすること。
9. 駅社員におけるこれまでの企画業務と今後の企画業務に対する考え方について明らかにすること

#### 【駅体制の変革】

1. 「輸送を守る」多様な人材の活躍を両立した体制に関する具体的な考え方について明らかにすること。
2. システム障害・大規模輸送障害発生時の対応力向上に向けた考え方及び対策について具体的に明らかにすること。
3. 首都圏、地方におけるエリア管理の具体的な考え方について明らかにすること。

#### 【駅社員の育成・成長プロセスの変革】

1. 駅社員の育成スケジュール及び教育内容のブラッシュアップについて明らかにすること。
2. 駅社員への管理者によるフォロー体制について具体的に明らかにすること。

